



JPI催しのご案内

2024 10

公益社団法人日本包装技術協会

— 2024年度の本催しについて —

2024年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で
皆様に情報発信をさせていただきます。

●開催要領

日時 ①令和6年10月3日(木) 13:00～15:00 / ②令和6年10月8日(火) 15:00～16:30

参加費 JPI法人・個人会員：無料 / 一般：11,000円(1部会、税込) **定員** 300名

①令和6年10月3日(木) 13:00～15:00

JPI本部主催

【テーマ】プラスチックを素から変えていく。 三井化学が進めるバイオマス化・ケミカルリサイクルの取り組み

地球温暖化やごみ問題を背景に脱プラが叫ばれています。しかし、プラスチックは日常の至る所で使用され、完全に無くすことは難しく、脱プラには必ず限界がありますので、脱プラを超える新たな考えが必要です。三井化学では「素材の素材まで考える」をキーワードに、脱プラならぬ「改プラ」を目指して、プラスチックの炭素と水素の由来を変えてくバイオマス化やケミカルリサイクルの取り組みを始めています。化学産業の心臓部であるナフサクラッカーに従来の石油由来の炭化水素ではなく、バイオマス由来の炭化水素、リサイクル由来の炭化水素を投入することで、あらゆる誘導品をバイオマス化・リサイクルプラとすることが可能です。従来のプラスチックと全く同じ物性であるため、より使いやすいバイオマス・リサイクル素材の提供が可能となり、社会のバイオマス度、リサイクル率の向上に貢献していきたいと考えています。

1. プラスチックを取り巻く課題について
 - ・カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミー
 - ・コミュニケーションブランド「BePLAYER」と「RePLAYER」
 - ・ブランドパーパス
2. 三井化学のバイオマス・リサイクルの取り組み
 - ・素から変える取り組みとは？
 - ・バイオマスナフサからのバイオマスプラスチック
 - ・廃プラからのリサイクルプラスチック（ケミカルリサイクル）
3. マスバランス方式について
 - ・マスバランス方式の特徴と必要性について
 - ・マスバランス方式の導入事例紹介

【講師】三井化学株式会社 グリーンケミカル事業推進室 ビジネスディベロップメントグループ グループリーダー 松永有理氏

申込要領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までをお願いします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用したオンライン講演会（ウェビナー）です。お申し込みは、当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページよりお願い致します。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に招待メールをお送りします。**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールを送付できません**のでご注意ください。
- ・招待メールにて**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、ご確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ※**ご利用のメールアドレスの環境・設定によっては迷惑メールに振り分けられる場合がございますので、ご注意下さい。**
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1名しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：坂本 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>

JAPAN PACKAGING INSTITUTE

◆裏面にもウェビナーのご案内がございます◆

②令和6年10月8日(火) 15:00~16:30

JPI関西支部主催

【テーマ】 JALの客室・ラウンジサービスにおける新規石油由来の使い捨てプラスチック全廃に向けた取り組み

JALは、2025年度までに客室・ラウンジで「新規石油由来の使い捨てプラスチックを全廃」することを経営目標に掲げています。これを実現するため、3R (Reduce、Reuse、Recycle) +1R (Redesign) を推進しています。その一方で、この目標の実現と引き換えに、お客さまが不便を感じられたり、サービス品質を低下させたりすることがあってはならないと考えています。これらを両立させるに際しての課題、ソリューション（紙素材以外への置き換えを含む）についてお話しさせていただきます。

【講師】 日本航空株式会社 カスタマー・エクスペリエンス本部 商品・サービス開発部 客室サービスグループ マネジャー 岡澤賢哉氏

TOKYO INTERNATIONAL PACKAGING EXHIBITION 2024

TOKYO PACK 2024

OCT.23~25, 2024 TOKYO BIG SIGHT

ただいま
来場事前登録
受付中!

包装の最新情報が一堂に集まる国際包装展

2024東京国際包装展

2024.10.23(水)▶25(金)

東京ビッグサイト 東ホール

開場時間▶ 10:00~17:00

主催 公益社団法人日本包装技術協会
JAPAN PACKAGING INSTITUTE

<https://www.tokyo-pack.jp>



本展ホームページ
2次元コード



世界が驚く包装イノベーションを!

~TOKYO PACKから世界へ~

TOKYO PACK Inspires the Packaging World

~A Gateway to Innovation~